

2024 年 3 月 15 日

各 位

地方創生に資する金融機関等の「特徴的な取組事例」として大臣表彰を受賞！

～歴史ある町並みを再生し、国際的評価も受けた持続可能なまちづくりを支援～

株式会社伊予銀行（頭取 三好 賢治）は、内閣官房（デジタル田園都市国家構想実現会議事務局）が実施する「令和5年度 地方創生に資する金融機関等の『特徴的な取組事例』」として大臣表彰を受賞しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

当行は、今後もまちづくり支援を通じて地域の課題を解決し、潤いと活力ある地域の明日の実現に取り組んでまいります。

記

○表彰式

受 賞 日：2024 年 3 月 14 日（木）
出 席 者：内閣府特命担当大臣 自見 はなこ
当 行 専務取締役 長 田 浩
開催方法：オンライン

○受賞した取組

概 要	江戸時代に城下町として栄えた大洲市一帯の歴史的資源を活用した観光まちづくりプロジェクト。地域の中核事業者とともに再生した町並みを活用した、国際的な評価を受ける持続可能な観光まちづくりに寄与した。
取組経緯	愛媛県南西部に位置する大洲市は、歴史的な文化財が多数残されているが、過疎化の進展により未活用建物が老朽化し、景観の維持が課題であった。こうした中、大洲市等から当行に相談があり対応の検討を開始した。 2017 年 6 月、大洲市と当行による勉強会を立ち上げ、全国の事例等を調査のうえ、歴史的資源を活用した持続可能な観光まちづくりに向けた取組みを開始した。
取組内容	2018 年 4 月、当行は大洲市・ホテル運営事業者・関連事業者等の 5 者で「愛媛県大洲市の町屋・古民家等の歴史的資源を活用した観光まちづくりにおける連携協定」を締結した。 同年 8 月、事業の中核となる地域 DMO の一般社団法人キタ・マネジメントとアセットマネジメント会社である株式会社 KITA を設立した。 老朽化した町家・古民家を再生することで町並みを整備し、外国人観光客を含めた域内回遊を促す観光事業の創出に取り組み、景観の維持や持続可能な観光まちづくりを進めた。
取組成果	一般社団法人キタ・マネジメントや株式会社 KITA が中心となり、全体で 34 棟の町家・古民家等の改修を実施しており、現在ではホテル（31 室）や、土産物販売店、クラフトビール醸造所、ワーケーション施設等の整備が完了している。また、域内の雇用は 134 名（正規 43 名、非正規 91 名）増加した。 2023 年 3 月、上記の一連の活動が評価され、国際認証機関の非営利団体グリーン・ディスティネーションズ（オランダ）が表彰する「The Green Destinations Story Awards ITB Berlin」の「Culture & Tradition（文化・伝統保全）」部門にて、世界 1 位（国内初）を受賞した。

以 上

【本件に関するお問い合わせ】 地域創生部（担当:三好・福嶋） TEL（089）907-1074